

津名地域で開催される地域福祉活動！の予定

日	時 間	行 事 名	場 所
6月 4日（水）	11：00	生穂えがおサロン（生穂）毎週水曜日	生穂会館
6月 5日（木）	10：00	大町カフェ「いえもん」（大町）	大町会館
6月11日（水）	10：00	高倉ふれあいカフェ（大町）	木曽上畑コミュニティプラザ
	10：40	神ノ内サロン（佐野）	神ノ内会館
6月12日（木）	10：00	連東中サロン（志筑）	笹山ガーデン
	13：30	中浜ふれあいサロン（佐野）	中浜クラブ
6月13日（金）	10：45	中田サロン（中田）	中田会館
6月18日（水）	14：00	在カフェ（塩田）	在会館
6月19日（木）	10：00	生穂浜カフェ（生穂）	KOKAGE 工房
		大町カフェ「いえもん」（大町）	大町会館
6月20日（金）	10：00	野田尾カフェ「 みらい 皆来」（生穂）	野田尾地域市民農園交流施設 みらい 皆来
6月23日（月）	10：00	青葉サロン（塩田）	下司敬天会館
6月25日（水）	10：00	高倉ふれあいカフェ（大町）	木曽上畑コミュニティプラザ
	13：00	里サロン（塩田）	里会館
6月26日（木）	13：30	長澤ひまわりカフェ（生穂）	長澤エコセンター
6月27日（金）	10：10	西谷サロン（志筑）	西谷会館
	10：20	興隆寺サロン（佐野）	興隆寺会館

スマホ・パソコン困りごと相談所〈相談のみ〉

6月5日（木）・6月19日（木）

10時～11時30分（いえもんカフェと同時開催）

費 用：100円 場 所：大町会館

主 催：大町まちづくり協議会



ガラケーの方、携帯電話をお持ちでない方もどうぞ！

スマホ教室&スマホ相談

6月9日（月）・6月23日（月）・7月7日（月）

10時～スマホ教室 11時～無料のスマホ相談

場 所：淡路市福祉会館

協 力：イオンモバイル・andProject

問い合わせ 社協つな TEL 62-5214



初心者向けスマホの勉強会がはじまります

「スマホに触れよう」

6月17日（火）10時～12時（要予約）

全3回の2回目になります

（次のクールは8月から予定しています）

場 所：淡路市福祉会館

お茶菓子代：100円

問い合わせ 社協つな TEL 62-5214



志筑公民館ふれあいサロン

6月4日（水）・11日（水）・18日（水）

＊毎月第1・2・3水曜日

時 間：10時～15時 場 所：志筑公民館



興味のある方ならどなたでも参加できます

認知症カフェ “おひさま Cafe”

6月25日（水） 毎月第4水曜日

時 間：10時～11時30分

場 所：淡路市福祉会館1階会議室（志筑新島5-1）

飲み物代：100円

時間内なら自由に出入りできます。

問い合わせ先：090-9983-9019（関）

62-5214（社協つな）



介護者の集い場 「介護のはじめ」

7月8日（火）

時 間：10時30分～12時頃

場 所：omiyageya HATCH（八浄寺横）

問い合わせ先：

淡路市地域包括支援センター 64-2145

千鳥会在宅介護支援センター 62-7600

社協つな 62-5214



この広報誌が不要になった場合は、資源ゴミの「その他の紙類」としてリサイクルにご協力をお願いします。

淡路市社協だより

すまいる つな 第181号

編集・発行：淡路市社会福祉協議会

地域支えあいセンター つな

住 所 淡路市志筑新島5-1

電 話 0799-62-5214

FAX 0799-62-5503

2025年6月発行



避難訓練して気づいたこと・疑問に感じたこと

志筑連東中町内会・連東中サロンのお連れ避難

5月20日火曜日に、連東中町内会と連東中サロンの共催で「お連れ避難」が行われ、23名が参加しました。「お連れ避難」とは、災害時にご近所や顔見知り同士が声をかけあい、連れだって避難することを言います。

阪神淡路大震災から30年が経ち、いつ地震や津波がくるかわからない今こそ、自分や自分の周囲の命を守る行動を考える機会となるよう、地震・津波想定防災訓練を企画されました。

当日は、町内会、民生委員児童委員の方が避難経路で見守る中、ご近所さんで誘い合わせて一次避難所の志筑公民館へ。津波想定のため、まずは2階へあがり、受付をした後、淡路市役所危機管理課の職員による講話や防災食の試食をしました。

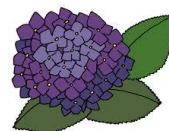


講話・防災食の試食

講話後に参加者から「津波はここまで来ないのか？」「避難場所はここでいいのか？」「もし災害時に、ご近所の方が避難所に行かないと言われたらどう関わったらいいのか？」の質問が出ました。

これらの質問は、町内会単位でお連れ避難訓練を経験したからこそ、一人の疑問ではなく、参加したみんなの気づきや疑問となり、ともに考える機会となりました。

災害はいつ起こるかわかりません。自分達が正しい情報を持つこと、自分の命は自分で守る意識を持つことで、災害時に救われる命があるのだと、お連れ避難訓練を通して自分事として意識して考える機会となったのではないのでしょうか。



避難所の志筑公民館に到着



社協会費の納入・善意の預託に

本年度もご協力をお願いします

淡路市社協福祉協議会が、地域のみなさまと共に地域福祉を推進していく上で欠かすことのできない大変貴重な財源となっています。みなさまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



この広報誌は、みなさんからお預かりしました「赤い羽根共同募金」の一部を財源にして発行しています



「佐野地域の力が合わさるイベント」

今年で2回目！こどもの日イベント



5月5日に防災をテーマに、さの小テラスで、佐野まちづくり推進協議会、佐野和太鼓クラブ、NPO法人島暮らし淡路が、こどもの日イベントを行いました。

防災おやつバッグ作りやクイズラリー、防災講話等の防災コーナーに加え、和太鼓演奏・体験会等の舞台披露、フリーマーケットやキッチンカーが並びました。

スタッフのつながりで協力者が増えた、佐野地域を中心に地域の力が合わさったイベントでした。



ふくし知恵ぶくろ会議「実際に体験することは大切」



岩屋地域のセニアカー試乗体験会に参加

5月15日木曜日、ふくしの知恵ぶくろ会議のメンバーが岩屋地域で行われたセニアカー試乗体験会に参加しました。

会議では、昨年の6月に神戸にある福祉のまちづくり研究所の福祉機器の展示を見学。その時に「自分達もいつか乗るかもしれないセニアカーだけど、本当に必要になってからでは不安やし、今のうちから、乗る体験ができれば安心やね」との意見がありました。津名地域でもセニアカー試乗体験会を企画するにあたり、以前から実施している岩屋地域の様子を参考にする目的で行きました。

体験会では、セニアカーの説明の後、実際に一人ずつ試乗しました。岩屋保健センターから岩屋商店街を通るルートで、実際に会議メンバーも試乗。「レバーがいろいろあるから、年とってから覚えるより、今のうちから体験しておいたほうが安心やね」との声も。その後の質問では、「どれくらいの坂の角度なら大丈夫？」「草の道でも大丈夫？」など自分の生活の中で使うことを想定した内容でした。津名地域でも企画していきたいと会議メンバーの気持ちが高まりました。

こんにちは！竹の子作業所です「楽しい時間…」



生穂公民館改修披露イベントに竹の子作業所も出店しました

5月10日土曜日、生穂公民館の改修披露イベントが行われ、竹の子作業所も参加しました。

公民館は避難場所に指定されており、より安心して利用できる場所となるようにエレベーター設置等の改修をされたと話していました。

竹の子作業所は、以前から生穂地区の文化産業祭でクッキーを販売したつながりもあり、今回もお声かけいただきました。クッキーやパウンドケーキ、マットを販売し、中でも「あわ神・あわ姫クッキー」が特に人気で、あっという間に完売しました。

また、建物前では綿菓子やポップコーン、くつ下の販売があり、子どもからお年寄りまで多くの方々が参加して賑わっていました。

きこえのリハビリテーション講座

難聴は認知症の危険因子の1つと言われています。認知症を予防するためにも、私たちと一緒にきこえや制度について学んでみませんか？

当事者・利用者の方から実体験のお話も聞けます。

【日時】 6月29日（日）

- ① 午後1時～午後2時半
- ② 午後2時半～午後4時



【場所】 津名公民館 3階（しづのおだまき館）

淡路市志筑 3117-10

【内容】

- ① 『きこえの仕組みと きこえのフレイルについて』
講師：沖田耳鼻咽喉科 院長 沖田 純氏
- ② 『きこえない・きこえにくい人の暮らしについて』
講師：淡路聴覚障害者センター
『福祉サービス・補聴器購入助成について』
講師：淡路市地域福祉課（調整中）
参加された方には素敵なプレゼント！



問合せ・申込先

社会福祉法人 ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

淡路聴覚障害者センター

電話：0799-24-3850 Fax：0799-26-1175

津名地域 福祉事業所 令和7年度事業計画

<竹の子作業所>



- ◆竹の子カフェを継続します。
・ゲームを取り入れたり、小学生にカフェの広報づくりに参加してもらう等、来場してもらいやすい工夫をします。
・作業所駐車場での夏のかき氷、ラムネの販売を継続します。
- ◆地域に出ていく機会を増やします。
出張カフェを検討し、利用者が地域の人と交流できる機会を増やします。



<ケアホーム いちごの家>

- ◆外出する機会などを通して、自分たちで出来ることを増やしていきます。
バス乗車や買い物を通して、自立へ向けた経験を増やします。
- ◆地域の人と交流する機会を作ります。
地域の文化祭などのイベントに参加し、地域の人と顔なじみになり、つながりを持てるようにします。



教えて！あかはねちゃん 赤い羽根共同募金って？



兵庫県共同募金会マスコットの“あかはねちゃん”が、赤い羽根共同募金の歴史についてお伝えします！

① 赤い羽根共同募金はいつから始まったの？

…戦後間もない昭和 22（1947）年に、市民が主体の「国民たすけあい運動」として始まりました。当初は戦後復興の一助として、その後、社会福祉法に基づいて、民間の社会福祉の推進のために活用されてきました。



② どうして「赤い羽根」なの？

…赤い羽根を使うようになったのは、第2回目の運動からです。赤い羽根は、「たすけあい」「思いやり」「しあわせ」の意味が込められて、共同募金のシンボルとして幅広く使われています。

社会が大きく変化した現在は、さまざまな地域の福祉活動をささえるしくみとして、運動がすすめられています。



～令和 8 年度新規採用職員募集中～
詳細はホームページが直接お問い合わせください
申込み締切り 9 月 30 日

嘱託職員・パート募集

週3日程度の勤務から募集中!!
一度お問い合わせください

◎子育てや介護との両立も大丈夫。働くママさん応援しています!!

◎施設・事業概要見学は随時受け付けています!

①デイサービス介助員パート・嘱託
(北淡・一宮)※介護福祉士優遇

②障がい者(作業所)支援員パート
1,088 円/時～ 資格所有者優遇!!
(ヘルパー1,138 円・介福1,158 円)

③送迎運転員パート(北淡)

1,088 円/時～

④ケアマネージャー(北淡・一宮)

嘱託職員 205,000 円/月～
パート 1,250 円/時～

お電話でお気軽にお問い合わせ下さい。
淡路市社協 656-2132 淡路市志筑新島 5-1
なぎ、やまさき TEL 62-5214